

# 地域福祉懇談会 ～地区の目標・目指す姿～ 一覧

テーマ：どんな地域だったら良い？こんな地域だったらいいな「理想とする地域像」

## 1. 支え合い・助け合い

- ・困った時に助け合えるまち
- ・隣近所の住民同士が語り合え、自然と助け合いができるまち
- ・住民の多様な声に対処できる地域
- ・生活の中に相互扶助の力があって活気のある住みやすい地域
- ・顔合わせのスムーズな町づくり
- ・住んでいて良かったと思える環境づくり
- ・みんながいきいきと生活し気軽に交流できるまち
- ・お互いに見守り・協力のできるまち
- ・声かけ、あいさつをして皆が知り合える安心して暮らせるまち
- ・声かけ、あいさつあふれる地域
- ・住んで良かったと思えるまちにしたい～憧られる地域であり続けたい～
- ・おもいやりのあるまち
- ・居場所のあるまち
- ・みんなが気軽に話せる風通しのよいまち
- ・いろんな人々が明るく元気に助け合えるまち
- ・互いに認めあって協力できるまち
- ・みんなが顔見知りのまち
- ・“向こう三軒両隣り”の復活
- ・小さな活動を積み重ねて、あいさつがし合える地域に
- ・みんなで声をかけあうまち
- ・ご近所さんの顔が見えるまち
- ・ふれあいのあるまちにしたい

## 2. 世代間交流

- ・若者と子どもとお年寄りが共存・交流できるまち
- ・若い力が育ち、次世代へつながるまち
- ・住民間、世代間、みんなの交流が活発に行えるまち
- ・町内会の活性化・地域の人との交流が図れるまち
- ・地域の茶の間を増やして若い人も高齢者も交流・相談できる場をつくる
- ・行事にみんなが集う世代交流
- ・顔・心（気持ち）がつながり、孤独死のない地域
- ・世代間交流が活発なまち
- ・転入してきた人にも優しいまち
- ・地域に関心を持ち、参加するまち
- ・三世代が地域に根ざすまち
- ・マンション住民との交流のできるまちづくり
- ・担い手の育成

### 3.安心・安全

- ・若い世代の子育てにも配慮のある安心、安全な地域
- ・災害時における避難支援の拡充
- ・誰もが安全・安心に暮らせるまち
- ・災害時にみんなで助け合う体制づくりがあるまち
- ・向こう三軒助け合いで安心できる地域
- ・安心・安全なまち
- ・災害時要援護体制の充実したまち
- ・“好きです♡○○” 安心・安全な住みやすいまち

### 4.活動場所

- ・空いている土地・家を活用できるまち
- ・地域みんなが集う場所のあるまち
- ・利用（安全）しやすい公園の活用
- ・身近な地域に交流のできる場所があるまちづくり
- ・身近な場所で交流ができる（活動拠点）
- ・都市化が進む中、ハード・ソフト面の環境づくりができるまち

### 5.高齢者

- ・高齢者の力が発揮できるまち
- ・高齢者の活動が活発なまち

### 6.健康

- ・健康を保てるまち、病気の人に声をかけれるまち
- ・健康に暮らせるまち
- ・健康で、安心・安全で暮らしやすいまち
- ・元気で長生き～ぴんぴんころりん～
- ・健康寿命を長くするまち

### 7.子ども

- ・子どもたちが生き生きと育つまち
- ・地域と学校が協働できるまち
- ・子ども達が明るく元気に育つまち
- ・若い力を育てて次世代につなげたい

### 8.社協

- ・社協を活用できるように（ロコミで）

## 地区別地域福祉活動計画策定のための話し合い

### 1. 目指す方向・目標の設定（1回目）

（まずは・・・）昨年度までの座談会でまとめた地域の課題や良いところなどを読み合わせます。

（次に・・・）昨年度のまとめを基に、今後6年間の地域づくりの目的を明らかにする話し合いを行います。

（1）自由に「どんな地域だったら良いか？」を話し合いします。

① 1～2分くらい、各自で考えます

- ・ 普段あまり真面目に考えない「こんな地区だったら良いな」と思うこと
- ・ 夢みたいなことでも、気障っぽいかな・言葉にするとなんとなくクサイかも、ということでもなんでも良いです
- ・ 考えたことをどんどん付箋に書いてください。付箋一枚に一つだけ、アイディアを書きます。
- ・ 付箋に書くのが苦手な方は、スタッフが付箋に書きますので、メモしておいてください。

② 付箋を模造紙に貼りだします

- ・ 模造紙に貼りながら、補足説明をしてください。
- ・ 貼りだした人と似た意見だったら近くに付箋を貼ります。

⇒メモしておいた方は、スタッフが付箋に書くのでお話ししてください

（2）A3用紙に編集し、3～5点要録をします

① 付箋に出された意見を3～5つのグループにまとめて、そのグループごとに地域づくりの目的にふさわしい名前をつけます

② 3～5つの要点の中で、一番重要な項目を評価し、それを一番に持ってきてA3用紙に要録し（記録の例のとおりに記載）、計画の「地区別福祉活動の目的」にあたることとして策定することの認識共有を図ります

⇒スタッフが記載しますので意見を出してください。

※話し合いのルールについて

- ① 他の方の意見を批判しないでください
- ② 自由に思いつくまま発言してください
- ③ 「自分の意見なんて…」等と思わず、とにかく沢山意見を出してください
- ④ 「他の方の発言と似ているから…」と遠慮せず、それに便乗してどんどん新しいアイデアを発言してください

## 2. 地域の良くしたいところ・良いところを話し合い（地域ヒアリング）

各地区で集まっていたいただき、「今この地区が抱えている地域福祉の課題」や「今この地区で取り組まれている地域福祉の活動」や「今この地区にある地域福祉課題の解決に一役買いそうな良いところ」などをお聞きしてまとめます。

## 3. 今後取り組む行動と工夫を決定（2回目）

1回目で出された目的に向かって  
ヒアリングで聞取りした「地域の力」で今後6年間で出来そうな行動と工夫を

①現状ある活動事業を活用して、それらが今後どのように前進したら良いか

②今見えている地域課題の解決につながるような新しい活動や事業を企画する

1～3を検討することで、地区としての「活動計画」作成につなげていきます



地区の略図

# 〇〇地区

地区内自治会名

地区の現状・・・・・・・・この地区はこんなまち

この地区の  
良いところ



この地区の  
良くしたい  
ところ



③地区ヒアリング  
で聞きます!

目標・目指す姿・・・・・・・・こんなまちにしたい

①

②

③

①今日は、ここ  
を決めます！

行動と工夫・・・・・・・・こう取り組んでいこう

キーワード

②2回目はここ  
を決めます！

キーワード

## 地域福祉活動計画策定スケジュール

月	地区社協	地域懇談会	推進協議会	
4				
5	・22日 地域社協代表者連絡会議	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f9cb9c;">                     会 場:新潟市総合福祉会館4階                      時 間:7月14日(月)10時~12時                      参加者:各地区社協から数名ずつ                      内容:                      地域健康福祉計画・地域福祉活動計画につ                      いての話                 </div>	・29日 第1回	
6	・上旬~中旬 地域社協連絡会 ・26日 新任幹事説明会		○14日 第1回地域福祉懇談会	
7				・22日 第2回
8	・下旬 地域社協代表者連絡会議			
9	・上旬~中旬 地域社協連絡会	○中旬~下旬 第2回地域福祉懇談会		
10		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f9cb9c;">                     会 場:未定                      時 間:未定                      参加者:各地区社協から数名ずつ                 </div>	・24日 第3回	
11			・13日 第4回	
12				
1				
2	・初旬 地域社協代表者連絡会議 ・中旬~下旬 地域社協連絡会		・5日 第5回	
3	・上旬~中旬 幹事研修会			